

18 難治性の肝炎のうち劇症肝炎 臨床調査個人票 (1.新規 2.更新)

ふりがな 氏名	性別		1.男 2.女	生年 月 日	1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成	年 月 日生 (満 歳)
住所	郵便番号		電話 ( )		出生 都道府県	発病時在住 都道府県
初診年月日	1.昭和 2.平成		年 月 日		保険種別	1.政 2.組 3.船 4.共 5.国 6.老
身体障害者 手帳	1.あり(等級____級) 2.なし		介護認定	1.要介護(要介護度____) 2.要支援 3.なし		
生活状況	社会活動(1.就労 2.就学 3.家事労働 4.在宅療養 5.入院 6.入所 7.その他(____)) 日常生活(1.正常 2.やや不自由であるが独力で可能 3.制限があり部分介助 4.全面介助)					
家族歴	1.あり 2.なし 3.不明		受診状況 (最近6か月)	1.主に入院 2.入院と通院半々 3.主に通院(____/月) 4.往診あり 5.入通院なし 6.その他(____)		

発症と経過(具体的に記述)

【WISH入力不要】

既往歴・生活歴	初発症状(平成 年 月 日)	昏睡度以上出現時 (平成 年 月 日)の所見
肝疾患 B型キャリア 肝以外の疾患 輸血歴 薬物服用 飲酒	発熱 食欲不振 全身倦怠 悪心・嘔吐 黄疸 腹部膨満 その他	発熱 黄疸 肝濁音界縮小 腹水 浮腫 頻脈 呼吸促拍 羽ばたき振戦 肝性口臭 痙攣
画像所見	肝組織検査	
肝萎縮 (1.超音波 2.CT 3.その他( ))	1.生検 2.剖検 3.なし (所見: )	
成 因	肝炎ウイルスマーカー	免疫マーカー
1. ウイルス性 1. A型 2. B型(1.急性感染 2.キャリア 3.不明) 3. C型 4. E型 5. その他( ) 2. 自己免疫性 3. 薬物性( ) 4. 成 因 不 明 5. 評 価 不 能	IgM-HA 1.陽性 2.陰性 3.不明 HBs抗原 1.陽性 2.陰性 3.不明 IgM-HBc 1.陽性 2.陰性 3.不明 HBc(200x) 1.陽性 2.陰性 3.不明 HBV-DNA 1.陽性 2.陰性 3.不明 HCV抗体 1.陽性 2.陰性 3.不明 HCV-RNA 1.陽性 2.陰性 3.不明 HEV-RNA 1.陽性 2.陰性 3.不明 IgM-HEV 1.陽性 2.陰性 3.不明	抗核抗体 1.陽性 2.陰性 3.不明 抗平滑筋 1.陽性 2.陰性 3.不明 抗LKM1 1.陽性 2.陰性 3.不明 グロブリン 1.陽性 2.陰性 3.不明 IgG 1.陽性 2.陰性 3.不明 IgE 1.陽性 2.陰性 3.不明 好酸球数 1.陽性 2.陰性 3.不明 D-LST 1.陽性 2.陰性 3.不明

	昏睡出現前	昏睡出現時	昏睡出現5日後	覚醒時	現在
	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
昏睡度					
AST (IU/L)					
ALT (IU/L)					
総ビリルビン (mg/dL)					
直接ビリルビン (mg/dL)					
直接/総ビリルビン比					
プロトロンビン時間 (%)					
ヘパラスチンテスト (%)					
AT (%)					
アルブミン (g/dL)					
アンモニア (μg/dL)					
AFP (ng/mL)					
HGF (ng/mL)					
血小板数 (万/mm <sup>3</sup> )					
白血球数 (mm <sup>3</sup> )					

合併症				鑑別除外診断						
感染症	1.あり	2.なし	3.不明	急性肝炎重症型	1.除外できる	2.除外できない				
消化管出血	1.あり	2.なし	3.不明	遅発性肝不全	1.除外できる	2.除外できない				
腎不全	1.あり	2.なし	3.不明	肝炎以外の急性肝不全	1.除外できる	2.除外できない				
D I C	1.あり	2.なし	3.不明	先行する慢性肝疾患	1.除外できる	2.除外できない				
心不全	1.あり	2.なし	3.不明	アルコール性肝炎	1.除外できる	2.除外できない				
脳浮腫	1.あり	2.なし	3.不明							
治 療 法	使用薬剤等			治療効果						
	ステロイド	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他
	グルカゴン・インスリン	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他
	特殊組成アミノ酸	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他
	血漿交換	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他
	血液濾過透析	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他
	プロスタグランジン	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他
	インターフェロン	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他
	ラミブジン	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他
	サイクロスポリン	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他
	抗凝固療法	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他
肝移植	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他	
その他	1.あり	2.なし	3.今後予定	4.不明	1.著効	2.効果あり	3.不変	4.悪化	5.その他	
医療上の問題点										
【WISH入力不要】										
医療機関名										
医療機関所在地										
電話番号 ( )										
医師の氏名										
印 記載年月日：平成 年 月 日										

肝性脳症の昏睡度分類（犬山分類：1972年）		
昏睡度	精神症状	参考事項
	睡眠・覚醒リズムの逆転。多幸気分、ときに抑うつ状態。だらしなく、気にとめない態度。	retrospectiveにしか判定できない場合も多い
	指南力（とき・場所）障害、物を取り違える（confusion）、異常行動（例：お金をまく、化粧品をゴミ箱に捨てるなど）、時に傾眠状態（普通の呼びかけで開眼し、会話ができる）、無礼な言動があったりするが、医師の指示には従う態度をみせる。	興奮状態がない 尿、便失禁がない 羽ばたき振戦あり
	しばしば興奮状態、せん妄状態を伴い、反抗的態度をみせる。嗜眠状態（ほとんど眠っている。） 外的刺激で開眼しうるが、医師の指示には従わない、又は従えない（簡単な命令には応じる）。	羽ばたき振戦あり 指南力障害は高度
	昏睡（完全な意識の消失）。痛み刺激に反応する	刺激に対して、払いのける動作、顔をしかめる
	深昏睡、痛み刺激に反応しない	